

1. 目標

包括目標(Goal)

1. 包括的な泌尿器科的専門知識の習得
2. 泌尿器科専門技能の獲得：診察・検査・診断・処置・手術
3. 継続的な科学的探求心の涵養
4. 倫理観と医療のプロフェッショナルリズムの育成

個別目標 (Objectives)

- 1 泌尿器科疾患の診察と治療法
泌尿器癌/排尿障害/尿路結石/慢性腎不全/小児先天異常/男性不妊/EDの診断と治療法
- 2 一般的な手術に関する項目
副腎、腎、後腹膜/尿管、膀胱/前立腺、尿道/陰嚢内容臓器、陰茎の術式の理解
- 3 専門的な手術に関する項目
腎移植・透析関連/小児泌尿器関連/女性泌尿器関連/ED、不妊関連/結石関連/
尿路再建関連/腹腔鏡・腹腔鏡下小切開・ロボット支援関連の術式の理解
- 4 専門的な検査に関する項目
膀胱鏡検査/尿管鏡検査/尿道造影/膀胱造影/逆行性腎盂尿管造影/尿流動体検査/尿流量測定/前立腺生検などの習得
- 5 全身管理に関する項目
周術期管理/透析管理/化学療法管理の実践と理解
- 6 処置に関する項目
膀胱タンポナーデ・凝血塊除去術/経尿道的膀胱凝固術/急性尿閉/膀胱瘻造設術/
急性腎不全・急性血液浄化法/尿管ステント留置/経皮的腎瘻造設術などの習得

2. 方略

1. 泌尿器科的基本的知識と基本的診療能力および技能の習得を目標とする。
2. 診察：外来および入院患者の病歴聴取から症状を把握し鑑別診断から診断にいたるまでのプロセスを習得する。良好な医師患者関係を築くことができる。医療安全、医療倫理、感染対策に関する考え方の習得。チーム医療の重要性を理解する。
3. 検査：腹部診察と超音波画像検査、検尿、前立腺、精巣の触診が自ら行うことができる。尿道膀胱鏡検査と尿管カテーテル法、ウロダイナミックス（尿流測定、膀胱内圧測定）、各種生検法（前立腺、膀胱、精巣）、X線検査（KUB、DIP、膀胱造影、尿道造影）などを自ら行うことができる
4. 手術・処置：疾患および各患者の医学的背景に応じて適切な手術方法や処置を選択することができる。診療科でのカンファレンスでプレゼンテーションを行うことが

(泌尿器科) 臨床研修プログラム

できる。患者および家族に手術に関する説明を行うことができる。施行された術式に関しては手術記録を記載し術後のカンファレンスでプレゼンテーションを行う。

週間スケジュール

	月	火	水	木	金
集合時間	7:30	7:30	7:30	7:30	7:30
場所	B棟8階	B棟8階	B棟8階	B棟8階	B棟8階
午前	主治医回診	主治医回診	主治医回診	主治医回診	主治医回診
	外来診察	手術	病棟カンファ	手術	外来診察
	病棟処置		教授回診	病棟処置	手術
午後	病棟処置	手術	外来検査	手術・病棟処置	手術
	主治医回診	主治医回診	主治医回診	主治医回診	主治医回診
		外来カンファ			

病棟：099-275-5829

医局：099-275-5395

3. 評価

1. EPOC 2 で評価（形成的評価）
2. 主治医団内での相互評価

4. 指導医（指導医養成講習会を受講した医師）

榎田英樹・山田保俊・西村博昭・鑑野秀一